



SANKO

樹脂併用型アンカー

コンポジットアンカー[®]

オール
ステンレス
簡単短時間施工
樹脂併用で安定した
強度を発揮



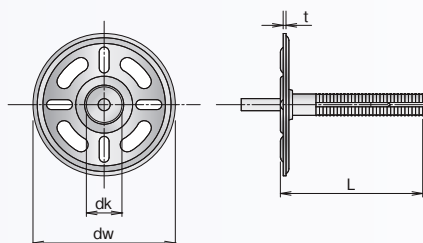
東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）共同開発

コンポジットアンカーは、東日本旅客鉄道株式会社との共同により、コンクリート剥落および修繕工事向けのあらゆる要素について開発された樹脂併用ステンレス製打込み式アンカーです。

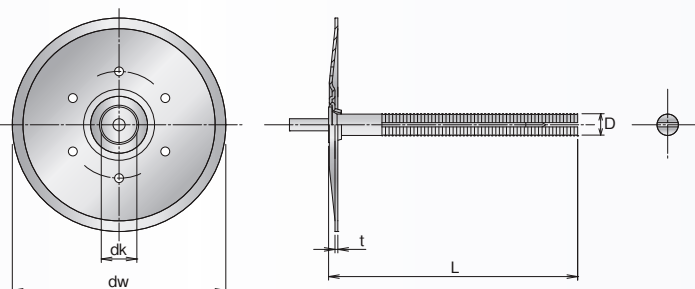
SANKO TECHNO CO.,LTD.

表面被覆工法用・シート工法用

JP-640PT



JP-670PT60W



ステンレス製 SUS304系

単位:mm 単位:kN

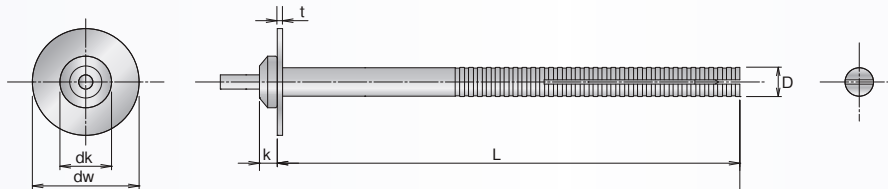
品番	外径 D	全長 L	頭部径 dk	ワッシャー		穿孔径	穿孔深さ	埋込み 長さ	最大引張荷重※
				径 dw	厚み t				
JP-640PT	6.0	40	10.0	40	0.8	6.6	50	40	9.6
JP-670PT60W		70		60			80	70	10.7

・ワッシャー付き

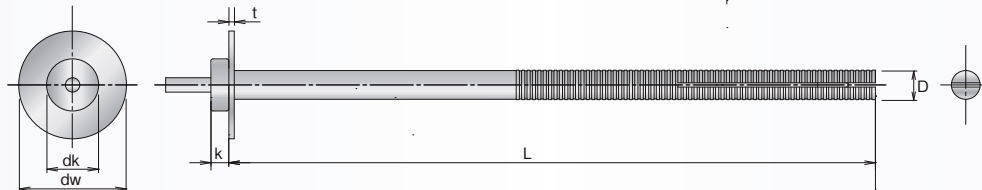
※確認試験用アンカーは別売となりますので、営業担当者までお問い合わせください。

当て板工法用

JP-813



JP-818



ステンレス製 SUS304系

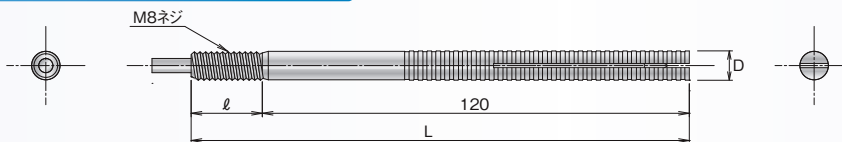
単位:mm 単位:kN

品番	外径 D	全長 L	頭部径 dk	頭部高 k	ワッシャー		穿孔径	穿孔深さ	埋込み 長さ	最大引張荷重※
					径 dw	厚み t				
JP-813	8.0	130	14.5	5.0	30	1.5	8.5	130	120	29.3
JP-818		180						180		

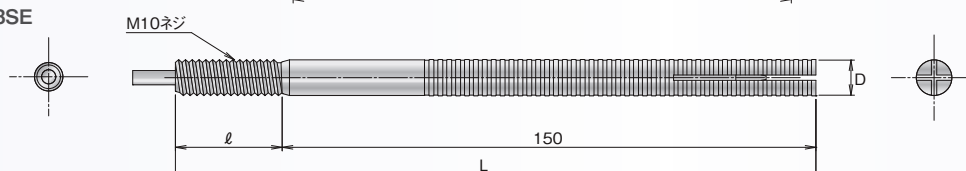
・ワッシャー付き

当て板工法用・樋取付け工法用

SC-814SE



SC-1018SE



ステンレス製 SUS304系

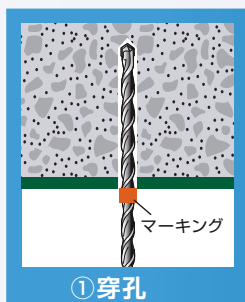
単位:mm 単位:kN

品番	外径 D	全長 L	ねじ長さ ℓ	穿孔径	穿孔深さ	埋込み 長さ	最大引張荷重※
SC-814SE	M 8	140	20	8.5	130	120	29.3
SC-1018SE	M10	180	30	10.5	160	150	37.8

・ナット・ワッシャーは別売品となりますので、監督者と協議のうえ選択し、ご使用ください。

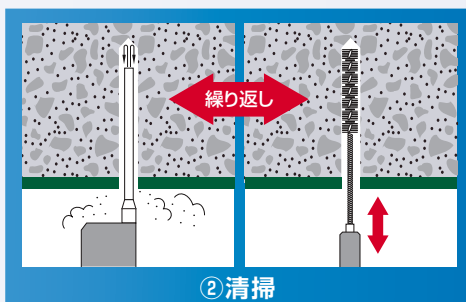
※最大引張荷重は、圧縮強度 $F_c=21\text{N/mm}^2$ のコンクリートに施工したアンカー本体の引張試験を行った実験値であり、許容荷重や保証値ではありません。

施工方法



①穿孔

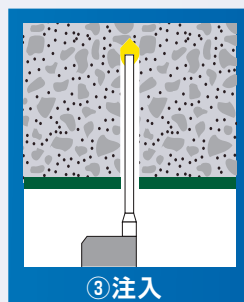
所定の穿孔径・深さで穿孔。



②清掃

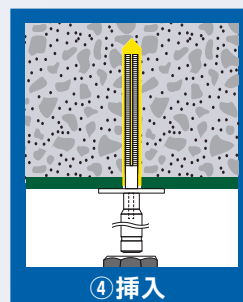
エアブロー等で孔内の切粉を除去し、孔壁に付着している切粉等をブラシで落とした後、再度エアブロー等で孔内を清掃。(繰り返し)

※孔内の清掃は十分に行ってください。



③注入

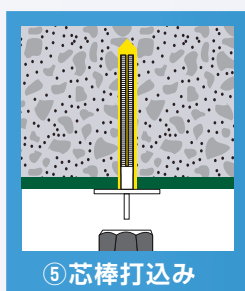
孔底側より樹脂を注入。



④挿入

挿入棒を用いて、アンカーを挿入。

(SC-814SE、SC-1018SEは別売品のナット・ワッシャーをセットしてから挿入してください。)

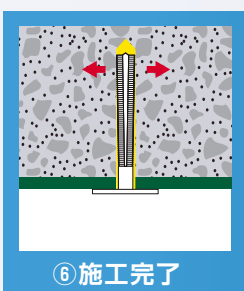


⑤芯棒打込み

ハンマーで芯棒を打込む。

※標準的な施工ができない場合、監督者の指示に従い、施工を行ってください。

※注意:穿孔機械は、アンカーの種類・径に応じて、適切な機械を使用してください。



⑥施工完了

使用例(トンネル・その他)



シート工法例



当て板工法例

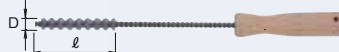


施工ツール関連

適合ツール

適合商品	オールドリル/アンカードリル SDS-plus軸	サンコー ワブラシ	挿入棒	アンカー ハンマー	
JP-640PT	SDS-6.6X160 (有効長95mm)	H-6	BA-6MH	AH-11G (重量1.1kg)	
JP-670PT60W					
JP-813	ADX-8.5X260SDS (有効長180mm)	W-0910			
JP-818					
SC-814SE	ADX-10.5X260SDS (有効長180mm)				
SC-1018SE					

サンコーワブラシ



単位:mm

品番	外径D	ブラシの長さL
H-6	7.0	80
W-0910	9.0	80

挿入棒



単位:mm

品番	全長L	外径D	内径d
BA-6MH	150	9.5	6.5

アンカーハンマー



単位:mm

品番	打撃面 幅B	ヘッド部 寸法H	全長L
AH-11G	42	95	210

併用樹脂の必要数量(カートリッジ1本当たりの施工可能本数)

単位:mm

単位:cc

単位:本

品番	樹脂品名	使用樹脂品番	穿孔径	穿孔深さ	埋込み長さ	必要樹脂量	カートリッジ1本当たりの 樹脂量	カートリッジ1本当たりの 施工本数目安
JP-640PT	ハードロックII	ER-153-400FW	6.6	50	40	1.7	50	24
JP-670PT60W				80	70	2.7		14
JP-813	ハードロックII	ER-153-400FM	8.5	130	120	7.4	300	32
	ARケミカルセッター	EA-500					500	54
JP-818	ハードロックII	ER-153-400FM		180		10.2	300	23
	ARケミカルセッター	EA-500					500	39
SC-814SE	ハードロックII	ER-153-400FM	10.5	130	150	7.4	300	32
	ARケミカルセッター	EA-500					500	54
SC-1018SE	ハードロックII	ER-153-400FM		160		13.9	300	17
	ARケミカルセッター	EA-500					500	28

※必要樹脂量については、施工条件により異なる場合がありますので、目安としてください。

樹脂仕様

品名	品番	樹脂名	孔内の表面状態		使用温度			硬化時間		
			乾孔	湿孔	-10℃	0℃	10℃	-10℃	0℃	10℃
ハードロックⅡ	ER-153-400FW/FM	アクリル樹脂	○	○	○	○	○	2.5時間	1時間	0.5時間
ARケミカルセッター	EA-500	非スチレン系エポキシアクリレート樹脂	○	○	×	○	○	×	4時間	1.5時間

○…使用可、×…使用不可

(表中の資料はメーカーのカatalog値を参考)

サンコー

新技術情報提供システム
NETIS
登録番号: KT-170007-VE

- 小型・軽量設計なので、狭い場所での試験も簡単に実施できます。
- 荷重と変位を同時に測定できます。
- 試験完了ブザー・最大値ホールドなどの便利な機能が付いています。
- 本体は乾電池駆動なので、AC電源は不要です。
- オプションのプリンタ(バッテリー駆動)を接続すれば、測定データをその場でプリントアウトできます。



RT-1000LDⅡ
(接着力引張試験器)
最大 荷 重: 10kN
最大変位量: 18mm
本 体 質 量: 3.3kg



RT-2000LDⅡ
(接着力引張試験器)
最大 荷 重: 20kN
最大変位量: 14mm
本 体 質 量: 4.5kg



RT-3000LDⅡ
(接着力引張試験器)
最大 荷 重: 30kN
最大変位量: 10mm
本 体 質 量: 5.1kg



AT-10DⅡ
(アンカー非破壊引張試験機)
最大 荷 重: 100kN
最大変位量: 15mm
本 体 質 量: 6.1kg

【施工上の注意点】

警告 | Catalog記載の施工手順や取扱方法を十分に理解したうえで使用してください。誤った取り扱いをした場合は思わぬ事故につながる可能性があります。

注意

■作業の心得について

- 作業を行うときは現場環境をよく理解し、監督者の指示・指導に従い、安全で確実な作業をしてください。
- 作業を行うときは自分の安全だけでなく周りの人々の安全も気遣ってください。
- 疲れている場合や冷静な判断ができない場合は、作業を行わないでください。

■作業の服装について

- きちんとした服装で作業を行ってください。
- 皮手袋、保護メガネ、防塵マスク、ヘルメット、安全靴などの保護具を身につけてください。

■作業前に注意すること

- アンカーの施工方法は商品によって異なります。施工手順を十分理解してから施工を行ってください。
- 本書記載のデータ(最大引張荷重など)は、当社製オールドリル等を使用して行った実験値に基づくものです。許容荷重や保証値ではありませんのでご注意ください。
- 電動工具を使用する際は、取扱説明書などに記載されている警告・注意事項をよくお読みのうえ、指示に従ってください。
- 試験機を使用する際は、取扱説明書などに記載されている警告・注意事項をよくお読みのうえ、指示に従ってください。
- 樹脂を使用する際は、取扱説明書・SDSなどに記載されている警告・注意事項をよくお読みのうえ、指示に従ってください。

■作業中に注意すること

- 指定された使用方法以外に使用しないでください。
- 無理な姿勢で作業を行わないでください。
- 穿孔用ドリルなどは、人体に向けて使用しないでください。
- 穿孔時のドリルビットは高温になっております。絶対に素手では触れないでください。
- 穿孔時に回転部分には絶対に手を触れないでください。
- 作業中に異常を感じた場合は作業を中止し、製品、工具を点検してください。
- モルタル部などの仕上げ材部分は、アンカーの埋込み長さとは認められませんので、仕上げ材厚さ分深くアンカーを埋込んでください。
- 樹脂が目に入った場合は、水で15分以上洗い落とし、医師の診断を受けてください。
- 樹脂が皮膚に付着した場合は、ただちに温石鹸水などで洗い流してください。外観に変化や痛みがある場合は、医師の診断を受けてください。
- 樹脂は有害です。口内に入れないでください。
- ハンマーなどは、施工目的以外に使用しないでください。
- アンカーの施工完了を必ず確認してください。施工が不完全な場合は、強度面や安全面から見て、非常に危険です。

■作業後に注意すること

- 穿孔直後のドリルビットは熱を持っています。触るとやけどの恐れがありますので、十分注意してください。
- 作業完了後は手洗いおよびうがいを行ってください。

※製品改良のために予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承ください。
安心して暮らせる豊かな街づくりを目指して…

無断複写・転載禁止

サンコーテクノ株式会社

本 社 / 〒270-0163 千葉県流山市南流山三丁目10番地16
本 社 営 業 04-7157-8181 広島支店 082-275-5091 金沢営業所 076-240-353
大阪支店 06-6748-0833 福岡支店 092-587-0188 岡山営業所 086-296-8031
札幌支店 011-876-9035 新潟営業所 0256-47-1135 高松営業所 087-885-7431
仙台支店 022-236-2533 横浜営業所 045-340-3517 鹿児島営業所 099-225-8311
名古屋支店 052-355-3501 静岡営業所 054-237-0102

お客様相談窓口 TEL ☎ 0120-350-514
(フリーダイヤル) FAX ☎ 0120-350-571

受付時間 祝日を除く月曜日～金曜日 9:00～12:00/13:00～17:00

サンコーテクノホームページ <https://sanko-techno.co.jp/>

A221100F